

美術工芸学科カリキュラムツリー（学年毎に学ぶ科目とカテゴリとの関係）チェック表

		専門課程			創造学習課程		
カテゴリ（大分類）	インテリジェンス	テクニカルスキル	クリエイション・プレゼンテーション	キャリア	基礎教養科目群	キャリア創出科目群	
カテゴリ（小分類）	事象を感じ捉える	技術から智恵に至る	構想を具現化する	世界を理解する	芸術教養／表現基礎／学習基礎	キャリア／プロジェクト／語学／資格	
4年			(構想を具現化する) 卒業研究・制作（陶・漆・書などの作品、もしくは研究論文で卒業制作） 4				
			(構想を具現化する) 創造表現XII F 展示計画とポートフォリオ制作 2				
			(構想を具現化する) 創造表現XIF 自主制作Ⅰ 2				
			(構想を具現化する) 創造表現XF 漆芸Ⅲ 2				
			(構想を具現化する) 創造表現IXF 日本文化研究と論文 2				
3年				(世界を理解する) 創造表現VIII F 起業戦略 2			
		(技術から智恵に至る) 創造表現VII F 複合作Ⅱ（絵画と書） 2					
		(技術から智恵に至る) 創造表現VIF 作陶と茶の湯Ⅱ 2					
		(技術から智恵に至る) 創造表現VF 漆芸Ⅱ 2					
	(事象を感じ捉える) 表現研究Ⅳ 染色科学論 2			(キャリア科目) 創造表現IVF 日本文化プレゼン英語 2			
	(事象を感じ捉える) 表現研究Ⅲ 芸術と写真 2	(技術から智恵に至る) 創造表現III F 能楽と謡曲 2		(世界を理解する) 工芸各論 専任オムニバス講義 2			
	(事象を感じ捉える) 表現研究Ⅱ 平面材料学 2	(技術から智恵に至る) 創造表現II F フィールドワーク（工房調査） 2		(世界を理解する) 美術各論 専任オムニバス講義 2			
	(事象を感じ捉える) 表現研究Ⅰ 立体材料学 2	(技術から智恵に至る) 創造表現I F 複合作Ⅰ（書と茶の湯） 2		ソーシャル・アート演習Ⅰ （社会実装科目） 社会の様々な場所で、美術工芸学科の専門性を行かした実践活動をする。 2	(表現基礎) ビジネスソフト基礎 2		

日本文化の身体化を通じて新たな視点と能力を獲得した学生には大学院への進学を促すと同時に、完成度の高い「陶」と「漆」の分野の制作を行えるように育成する。作家として修練の戸口に立った学生には弟子入りや訓練校での研鑽を紹介。また日本文化プランナー職はこのコースを卒業する学生のメインステージとする。また教職は本コースの重要なキャリア先となるので、継続的な支援を図りたい。

本コースは厳選した項目を繰り返し身体化する事を重視している。技術習得としては作陶と木漆という二本柱を3年間。能楽も隔年ではあるが3回生での定着を試みる。また京都の伝統工房のリサーチを通じて、職人として自立を目指す学生の要望に応える。キャリアでは、日本文化のコンシェルジュやコーディネーター職の要望が産業界に高く、英語による日本文化紹介が可能になるカリキュラムと、起業を促す講座を設けている。

2年					(世界を理解する) 創造演習VIII F デジタルデザイン (WEB)	2	(芸術教養基礎) 色彩論	2	
			(技術から智慧に至る) 創造演習VII F クリスティーズNY研 修	2			(世界を理解する) 専門英語 I 英語の基礎	2	
			(技術から智慧に至る) 創造演習VI F 漆芸 I	2					
		(事象を感じ捉え る) 図学 図としての空間表 現	2	(技術から智慧に至る) 創造演習V F 造花自然 II (立花を日 常とする)	2				
		(事象を感じ捉え る) 美術工芸史IV 彫刻史	2			(世界を理解する) 創造演習IV F デジタルデザイン (DTP)	2		
		(事象を感じ捉え る) 美術工芸史III 工芸史	2	(技術から智慧に至る) 創造演習III F 和歌と書	2				
		(事象を感じ捉え る) 美術工芸史II 絵画史	2	(技術から智慧に至る) 創造演習II F 作陶と茶の湯II	2				
		(事象を感じ捉え る) 美術工芸史I 現代美術史	2	(技術から智慧に至る) 創造演習I F 絵巻と掛け軸	2				
		(事象を感じ捉え る) 美術概論II 美術概論	2			(世界を理解する) 創造基礎VIII F 読む書II (古来の文 献が読め記せる)	2	(表現基礎) 表現ソフト基礎	2
		(事象を感じ捉え る) 美術概論I 美術概論	2	(技術から智慧に至る) 創造基礎VII F 禅体験と茶(室町文化 の背骨に触れる)	2				語学科目群 2
		(事象を感じ捉え る) 工芸概論II 工芸概論	2	(技術から智慧に至る) 創造基礎VI F 意匠と障壁画(日本絵 画の空間)	2	(世界を理解す る) コンピューター演習A (教職学生向け) adobe ソフトの基本操作	2		
		(事象を感じ捉え る) 工芸概論I 工芸概論	2	(技術から智慧に至る) 創造基礎V F 作陶と茶の湯I (茶の湯で 使用する碗を自作する)	2	(世界を理解す る) コンピューター演習B (教職学生向け) adobe ソフトの基本操作	2		
						(世界を理解する) 創造基礎IV F 読む書I (古来の文 献を読み写す)	2		
	1年			(技術から智慧に至る) 創造基礎III F 能楽と身体(世阿弥の 思想に触れる)	2				
			(技術から智慧に至る) 創造基礎II F 茶杓と障壁画(日本人 の美意識を探る)	2			(総合基礎) グループワークショッ プ	6	
			(技術から智慧に至る) 創造基礎I F 造花自然(立花の自然 観に親しむ)	2			(総合基礎) コミュニケーションペー シック	6	
								総合基礎科目群	

一回生で経験した。「茶」「立花」「茶陶」を繰り返し履修。それに加えて「木漆」の実習と和歌や連歌の手ほどきを受ける。最終の後期3期目には、クリスティーズNYとボストン美術館で東洋美術を欧米がどのように評価需要しているかをリサーチする。キャリアでは情報発信力を育成するために、グラフィックとウェブデザインを学ぶ

室町時代に確立され、現在も世界に影響を与えている「茶」「立花」「能楽」「禅」「水墨画」「茶陶」を中心に、日本文化の伝承方法として長く受け継がれた身体を通じた稽古という手法によって師より学生に伝達を行う。キャリアは特に重要で、1年を通して古典を読む事を目的に名筆の書に習う